

不安の時代に、  
心に希望の灯をともす



劇場版

# 荒野に希望の灯をともす

映画上映とトークセッション

8月2日(日)

13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)

会場：ふじみ野市産業文化センター

定員：198名



お申込みは  
こちら

# なぜ今、この映画を届けたいのか。

「自分にできることなんてあるのだろうか」

——そう思ったことはありませんか。

中村さんも、現地の言葉も文化もわからないところから始めた人でした。

でも現場に寄り添い続けた先に、65万人の命を支える用水路が生まれました。

ぜひ観に来てください！

上映後のトークイベントには、

中村哲さんが亡くなる4ヶ月前にインタビューを行なっている温野まきさん、

無肥料自然栽培で地域に根を張る明石農園の明石さん、主催のみんな

そしてフィリピンの貧困を目の当たりにしてきた高校生も登壇します。

テーマは「食卓の向こうに世界がある。」

難しそうに聞こえるかもしれないけれど、

要するに「私たちが何を食べるかが、世界平和とつながっている」という話です。

お箸を持つ手が、実は遠い誰かの暮らしに届いている

——そんなことを、一緒に考えてみませんか。



# 映画を観て終わらない、 これからの暮らしと生き方を考える時間へ。

20年以上にわたり撮影された映像から、  
医師・中村哲の生き方をたどるドキュメンタリーを上映します。  
上映後には、温野まき氏をはじめとする登壇者が、  
映画とそれぞれの活動をつなぐ対談を行います。

## 登壇者プロフィール



メインスピーカー

**温野まき**

時雨出版 | 代表

読みたい人の手に本が直接届くかたちを模索しながら出版活動を行う。「ほどよいときに降る雨」のように、読む人の心を静かに動かす本づくりを目指している。中村哲氏へのインタビュー経験を持ち、トークセッションでは生前の中村氏のお人柄や言葉、現場で感じたことを語っていただきます。



SHIGUREBOOKS\_AOBON



1997年に自然食店を開業し、生産者と生活者を結ぶことを軸に、自然食品や無肥料自然栽培の普及に取り組んできた。2001年より無肥料自然栽培の流通を開始。食・農・医をつなぐ実践を続けている。現在無肥料自然栽培の普及から貧困の脱却を目指し、ブータン、フィリピンでも活動。

対談者

サン・スマイル  
代表取締役  
**松浦智紀**



SUNSMILE.OISHIHASHIMAKE



2003年より埼玉県三芳町で無肥料自然栽培に取り組む。目に見えない自然の働きに学びながら、野菜や土、微生物の多様性に耳を澄ませ、人も自然の一部として生きることを実践の中で伝えている。

対談者

明石農園  
代表  
**明石誠一**



AKASHIYASAI



富士見市で家族が安心して食べられる野菜を、という父の志を受け継ぎ、20年以上続く無農薬栽培に向き合う。無肥料自然栽培を行い、自然とともに生き、人とのつながりの中で育まれる農業を大切にしながら、次代へ畑と想いをつないでいる。

スピーチ

渋谷農園  
代表  
**渋谷正和**



SHIBUYA.NOZEN.SAITAMA



春日部で自然食店を営む。農業や化学肥料に頼らない栽培で育った作物や、昔ながらの製法で作られた食品、環境に配慮した日用品を通して、体にも地球にもやさしい暮らしを提案している。次の世代へきれいな地球をつなぐことを大切に、日々活動している。

スピーチ

アベナチュラル  
代表  
**阿部慶介**



ABENATURALFOODS



「人の心と身体を健康にしたい」という思いを軸に、フレンチやホテル、チャヤマクロビオティックスで経験を重ねる。現在は富士見市鶴瀬で、「ココロと身体を健康に」地元野菜や有機食材、発酵の知恵を生かした料理を届けている。

スピーチ

3552食堂  
オーナーシェフ  
**成田大治郎**



3552YOKUDO



茨城県東海村を拠点に、土づくりを大切にしながら、さつまいもをはじめとする栽培に取り組む。長年の経験の中で農業使用に疑問を持ち、土の分析や研究を重ねながら、無肥料自然栽培栽培を追求してきた。タンザニアでの干し芋の製造・販売にも関わり、農業を通じた貢献を広げている。現在ブータンでも活動中。

スピーチ

Tファーム  
代表取締役  
**照沼勝浩**



TERASHIMA



百年杉の伝道師「百年杉で人を幸せにする」というミッションを掲げている。睡眠、妊娠、子育てなどで困難を抱えるお客様たちが百年杉を暮らしに取り入れ、問題が解決されていく事例が少なくありません。これからも、より多くの幸せの種を蒔いていく所存です。

スピーチ

加藤木材  
代表取締役  
**加藤政実**



KAGAWA



プロフィール

サン・スマイル店長の息子。普通の高校2年生。今年の3月にフィリピンに行き、貧困のリアルと向き合う。現実を見て感じたことを伝えてまいります。

スピーチ

高校生  
**松浦春樹**



「いつも笑顔がそばにある」そば粉で作った焼き菓子とパンの専門店『そばの実カフェsora』です。お顔の見える生産者（農家）さんからいただいた食材を使用し、グルテンフリーやビーガンの方にも安心してお召し上がりいただける、おそばのお菓子を作っております。

スピーチ

そばの実カフェsora  
代表  
**小池知子**



SOBANOME.SORA

# 武力で平和は守れない

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、  
我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えで人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、  
そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死・・・中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして一。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていくだろう。

日時：2026年8月2日（日）  
時間：12:30開場／13:00開始／13:05上映開始／  
14:35休憩／15:50トークセッション／16:30終了

会場：ふじみ野市産業文化センター 多目的ホール  
東武東上線 ふじみ野駅から徒歩6分

定員：198名

一般：¥2,300  
学生・障がい者：¥1,500  
小学校以下：無料

お問い合わせ先：サン・スマイル  
電話：049-293-2031

mail：generalaffairs@sunsmile.org

お申込み方法：QRコードよりお申し込みください  
アクセス先：<https://subarashii.peatix.com/>



共同主催：サン・スマイル 明石農園 3552食堂 アベナチュラル  
渋谷農園 T-ファーム 加藤木材 そばの実カフェsora